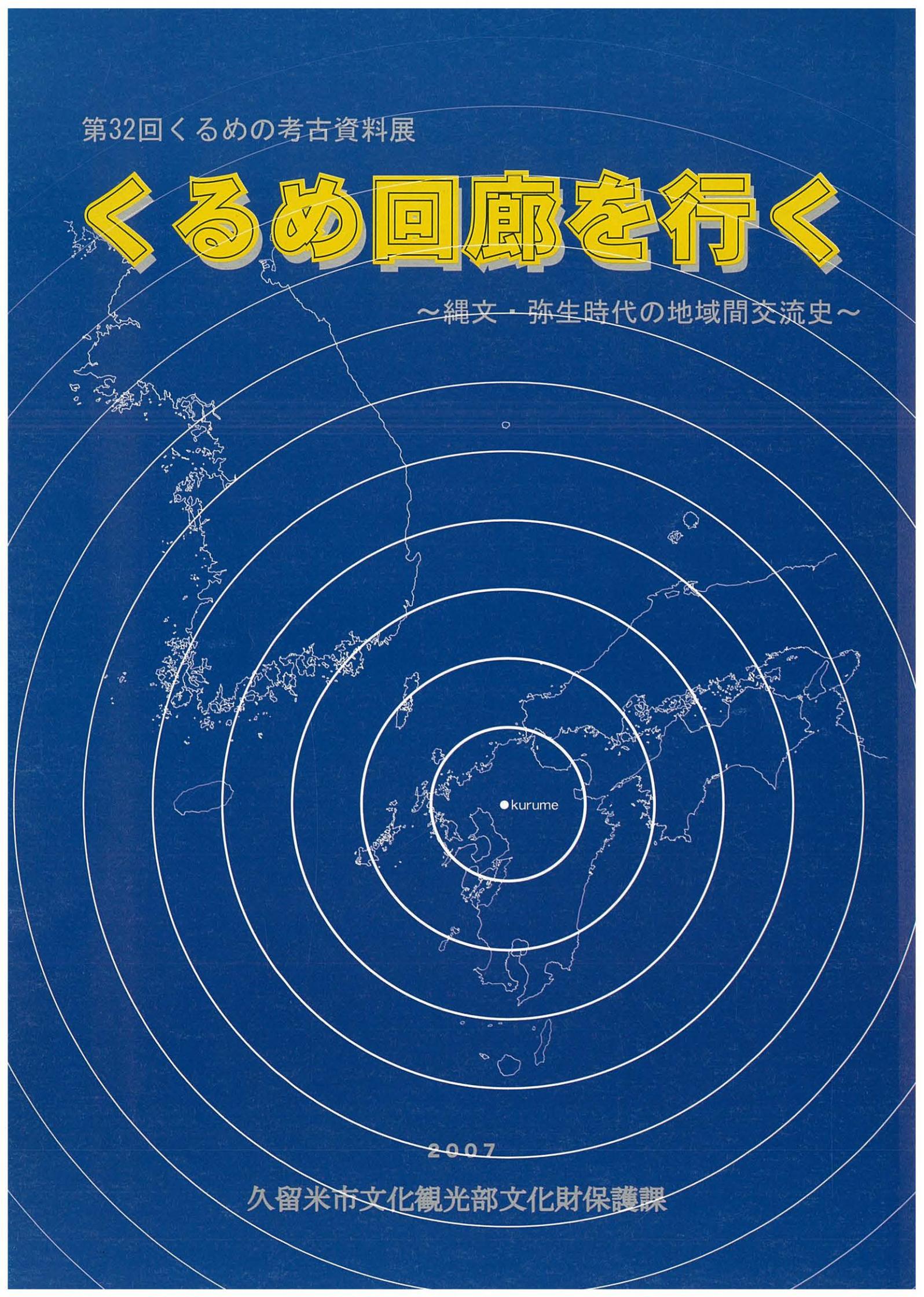


第32回くるめの考古資料展

くるめ回廊を行く

～縄文・弥生時代の地域間交流史～



● kurume

2007

久留米市文化観光部文化財保護課

■九州のクロスロード久留米

久留米市は筑後平野の中心部に位置し、北は二日市地峡帯、西は有明海および筑後川、東は日田盆地、南は有明海沿岸沿いから通ずるルート上にあることから、古来より人とモノと情報が往来する交通の要衝として繁栄してきました。そのことは、市内各地から出土した多くの遺物によって裏付けられます。

今回の考古資料展では、日本の黎明期でもある縄文・弥生時代に焦点をあて、久留米にやって来たモノから先人たちのネットワークを紐解いてみましょう。

■地域間の交流－縄文時代

縄文時代前期～中期にかけて、久留米は西九州一帯に広がる土器文化圏に属していました。中期に流行した阿高式土器は朝鮮半島にまで分布しています。一方で瀬戸内地方に多く分布する船元式土器なども出土することから、他地域との交流もあったことがわかります。

後期になると、瀬戸内からの影響が顕著となり、磨消縄文系の土器が九州全域に広がっていきます。後期の終わりにはこの流れが加速し、黒色磨研土器群が北部九州を席卷していきます。

このように縄文時代は小地域間を基礎に、西日本各地だけでなく朝鮮半島にまで人々の交流が広がっていたのです。

■大陸や半島との交流－弥生時代

縄文時代に形成された地域間のネットワークは、稲作文化の到来というこれまでの生活様式や社会構造を一変させる大転換を極めてスムーズに受け入れる下地として機能していきました。

北部九州は、朝鮮半島を経由して大陸から稲作文化がいち早く伝来した地域です。久留米には、博多湾沿岸より二日市地峡帯を経て伝わったものと思われます。一方、有明海沿岸にも朝鮮半島に由来する土器群が数多く出土することから、有明海から筑後川を遡るルートも朝鮮半島との交流の窓口であったことが考えられます。

また、稲作伝来とほぼ時を同じくして、青銅器や鉄器などの新しい文物が積極的に導入されます。



野口・正福寺遺跡出土鉢形土器（縄文時代）



安国寺遺跡出土土器群（弥生時代）

展示資料出土遺跡一覧



- 縄文時代の展示品が出土した遺跡
- 弥生時代の展示品が出土した遺跡



1 野口遺跡 (のぐちいせき)	9 仁王丸遺跡 (におうまるいせき)	17 古宮遺跡 (ふるごういせき)
2 横道遺跡 (よこみちいせき)	10 木塚遺跡 (きづかいせき)	18 御塚古墳 (おんづかいせき)
3 正福寺遺跡 (しょうふくじいせき)	11 中ツプロ遺跡 (なかつぶろいせき)	19 塚畑遺跡 (つかはたいせき)
4 水洗遺跡 (みずあらいいせき)	12 安国寺遺跡 (あんこくじいせき)	20 石丸遺跡 (いしまるいせき)
5 市ノ上東屋敷遺跡 (いちのうえひがしやしきいせき)	13 笹井原遺跡 (ささいばるいせき)	21 一ノ左右遺跡 (いちのさういせき)
6 市ノ上北屋敷遺跡 (いちのうえきたやしきいせき)	14 東櫛原今寺遺跡 (ひがしくしはらいまでらいせき)	22 日渡遺跡 (ひわたしいせき)
7 久保遺跡 (くばいせき)	15 道蔵遺跡 (どうぞういせき)	23 ヘボノ木遺跡 (へぼのきいせき)
8 良積遺跡 (よしづみいせき)	16 大林遺跡 (おおばやしいせき)	24 寺徳遺跡 (じとくいせき)



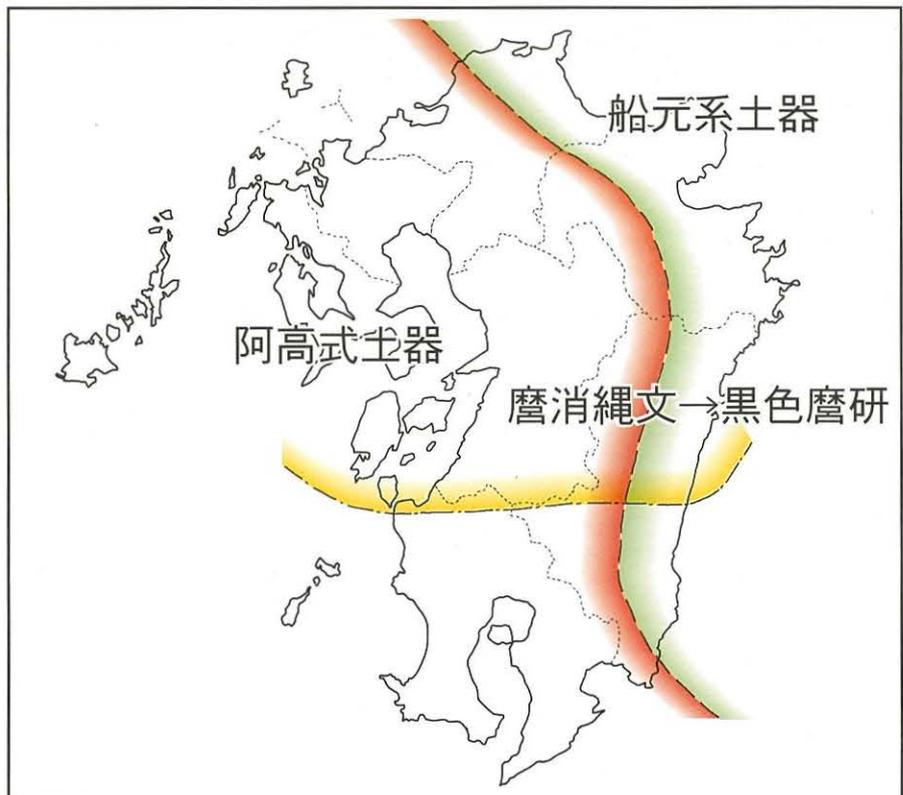
野口遺跡出土 深鉢形土器（野口式土器）



正福寺遺跡出土 小形脚付深鉢形土器（坂ノ下式土器）

縄文の土器

野口遺跡（山川野口町）からは、前期の野口式土器が出土しています。これは西九州に分布する曾畑式土器と轟式土器の間に位置付けられるもので、両者からの影響を受けてつくられたものと考えられます。このことから縄文時代前期における西九州との密接な関係がうかがえます。次に、正福寺遺跡（国分町）からの出土品に阿高式土器、南福寺式土器、坂ノ下式土器があります。また、市ノ上北屋敷遺跡（合川町）からは船元式土器が出土しています。これらは中期の九州を代表する土器です。前者は東九州を除く九州全域に分布し、特に西九州に分布の中心があります。後者は瀬戸内地方を中心として北部九州にまで分布しています。後期になると北久根山式土器、西平式土器、御手洗式土器が出土しますが、これらは中九州の西側を中心に分布する土器です。以上のように、九州の人々がお互いに影響し合い交流しあう様子が、各地の土器の分布からもうかがえるのです。



中・後期の縄文土器分布範囲図



良積遺跡出土 異形石器 (姫島産黒耀石製)

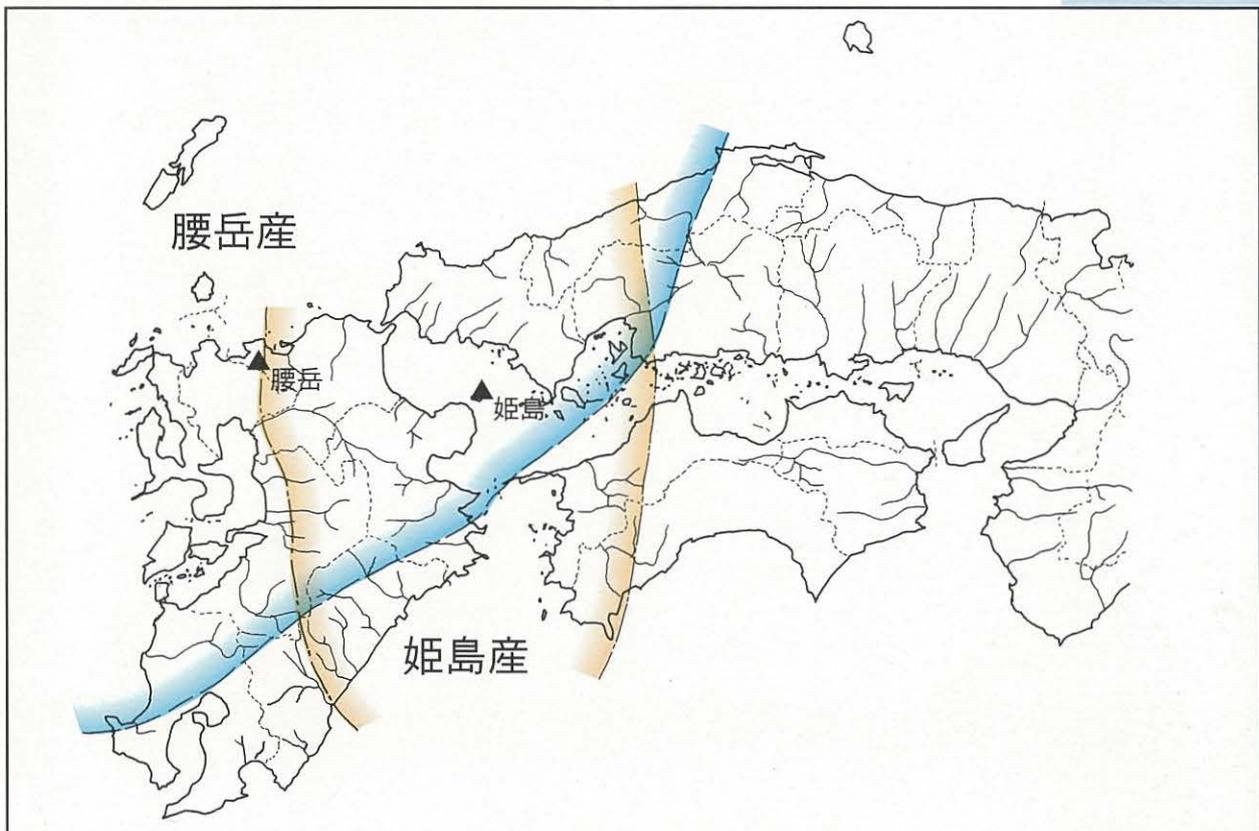


正福寺遺跡出土 縦長剥片 (鈴桶技法、腰岳黒耀石製)

縄文の石器

石器の材料として多く使われたもののひとつに黒耀石があります。その原産地として著名な大分県の国東半島沖にある姫島では、海岸の露頭で容易に採集することができます。この石は灰白色をしており、一目で判断できる特徴的なものです。前期以降、需要が増加し、九州だけでなく中四国地方でも数多く製品が出土しています。久留米でも良積遺跡（北野町）や正福寺遺跡（国分町）をはじめとする縄文遺跡から出土しています。

佐賀県伊万里市の腰岳中腹から採集される黒耀石は色調が漆黒ですが、薄く剥ぎ取ると透明度が増します。また、まっすぐに薄く割れ易いことから、切れ味が鋭く、はるか旧石器時代から利用されてきました。縄文時代後期には、このような特徴を生かして、縦長の薄片を大量に作る技術が広まります。この剥片を素材として、効率的に石鏃が製作されました。その後、弥生時代になると青銅器や鉄器が出現しますが、それ



姫島・腰岳産黒耀石範囲図



野口遺跡出土 石斧（蛇紋岩製）

でも石鏃^{せきぞく}などの石器の材料として重宝されました。この石材から製作した石器も、正福寺遺跡^{しょうふくじ}や西小路遺跡^{にしじょうじ}（東合川町）をはじめとする、市内各地から出土しています。

その他、野口遺跡^{のくちいせき}（山川野口町）から出土した蛇紋岩製の石斧の産地は、大分県佐賀関半島もしくは長崎県野母崎半島の可能性が高いとされています。よい材料よい製品を求めて、北部九州各地と交流する人々の姿が浮かび上がります。

弥生の土器



久保遺跡出土 壺・甕（朝鮮半島系無文土器）

久保遺跡^{くぼいせき}（城島町）からは、朝鮮半島系無文土器^{ちょうせんはんとうけいむもんどき}が数多く出土しており、半島との密接な関係がうかがえます。有明海から筑後川を遡るルートを通じて、交流があったのでしょう。同じく筑後川中流域の良積遺跡^{よしづみいせき}（北野町）でも、無文土器の壺が出土しています。さらには、仁王丸遺跡^{におうまるいせき}（北野町）では朝鮮半島系無文土器に特徴的な牛角把手片^{ぎゅうかくとってへん}が出土していることから、筑後川流域でも半島との交流が盛んであったものと思われます。

弥生の石器



良積遺跡他出土 抉入石斧・柱状片刃石斧・扁平片刃石斧

縄文時代には石材を打ち欠いて成形していましたが（打製石器）、弥生時代には擦り磨いて仕上げる磨製石器が主流となります。稲を収穫^{いねしゆうかく}する際に使用する石包丁をはじめ、樹木を伐採する大型蛤刃石斧、木材を加工する柱状片刃石斧^{ちゆうじょうかたばせきふ}や扁平片刃石斧^{へんぺいかたばせきふ}という大陸の影響を受けた磨製石器群が出土するようになります。

福岡市今山遺跡^{いまやまいせき}では、砂岩を材料に大型蛤刃石斧^{きがん}を製作しており、その製品が久留米にも流通していました。しかし当地域では縄文時代以来の伝統的な打製石器も作られています。石材については黒耀石が主体ですが、前期末～中期にかけて黒耀石の出土量が減少する遺跡も見られます。それを代用するように、石英^{せきえい}（メノウの可能性もある）を材料に使うようになります。久留米で出土する石英の原産地は、八女郡星野村^{やめぐんほしの}であるといわれています。



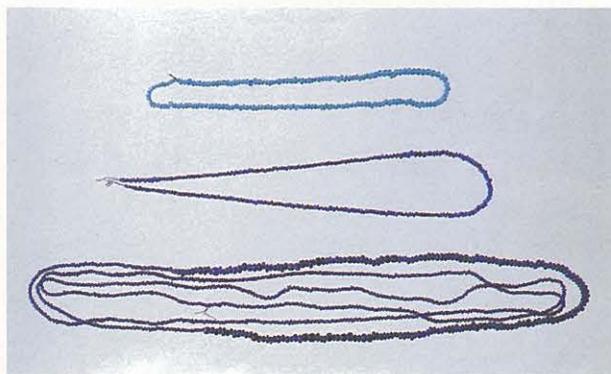
良積遺跡他出土 磨製石器（石戈、石剣、石鏃）



朝鮮半島系無文土器が出土した主な遺跡



日渡遺跡出土 内行花文鏡（青銅製）



一の左右遺跡出土 玉類（ガラス製）

弥生の装飾品・青銅器

市内でのこれまでの発掘調査からは、明確にガラスの^{ちゆうぞう}鑄造を行った遺跡は^{いせき}発見されていません。しかし、一の左右遺跡（荒木町）の墓からはガラス製の玉類が大量に出土しています。近隣では、佐賀県吉野ヶ里遺跡や春日市須玖岡本遺跡においてガラス工房跡が発見されています。このことから、久留米の周辺地域で生産され持ち込まれた可能性があります。

一方、日渡遺跡（国分町）で出土した内行花文鏡は、中国大陸で作られ日本に渡ってきた鏡で、有力なクニが入手して久留米のクニへ配布したものではないかと思われ^{ない}ます。中期になると日本でも^{せいどうぎ}青銅器が^{ちゆうぞう}鑄造されるようになります。久留米市内では寺徳遺跡（田主丸町）と新府遺跡（合川町）で^{いがた}鑄型が見つっていますが、^{ちゆうぞうこうぼう}鑄造工場の跡などは見つかりません。今後の発見に期待したいところです。

第32回 く る め の 考 古 資 料 展

く る め 回 廊 を 行 く ～ 縄 文 ・ 弥 生 時 代 の 地 域 間 交 流 ～ 出 土 資 料 一 覧

器 種	出土遺跡名	種 別	器 種	出土遺跡名	種 別
石核	横道遺跡	黒曜石	磨製石剣	へボノ木遺跡	-
剥片	野口遺跡	安山岩	磨製石剣	良積遺跡	-
尖頭器	水洗遺跡	安山岩	石戈	良積遺跡	-
多久産安山岩原石	-	-	柳葉形磨製鏃	新府遺跡	-
磨製石斧	野口遺跡	蛇紋岩	柳葉形磨製鏃	良積遺跡	-
長崎産蛇紋岩原石	-	-	磨製鏃	良積遺跡	黒曜石
磨製石斧	野口遺跡	砂岩	磨製鏃	良積遺跡	蛇紋岩
環状石器	市ノ上北屋敷遺跡	片岩	柱状片刃石斧	市ノ上北屋敷遺跡	-
異形石器	良積遺跡	姫島産黒曜石	扁平片刃石斧	市ノ上北屋敷遺跡	-
剥片	日渡遺跡	水晶	扁平片刃石斧	東櫛原今寺遺跡	-
石鏃	日渡遺跡	石英	抉入石斧	良積遺跡	-
石鏃	日渡遺跡	チャート	抉入石斧	東櫛原今寺遺跡	-
アメリカ鏃	東櫛原今寺遺跡	黒曜石	抉入石斧	大林	-
トロトロ石器	東烏遺跡	チャート	鋤先	古宮遺跡	鉄器
トロトロ石器	合川町和泉採集	チャート	大型石包丁	良積遺跡	砂岩
十字形石器	良積遺跡	片岩	石包丁	良積遺跡	輝緑凝灰岩
石刀	正福寺遺跡	片岩	石包丁	へボノ木	輝緑凝灰岩
大珠	正福寺遺跡	滑石	大型蛤刃石斧	塚畑遺跡	玄武岩
小玉	正福寺遺跡	-	大型蛤刃石斧	御塚古墳	玄武岩
勾玉	良積遺跡	蛇紋岩か?	輝緑凝灰岩原石	笠置山採集	-
垂珠	市ノ上北屋敷遺跡	片岩	石英・メノウ	星野川採集	-
剥片鏃	正福寺遺跡	黒曜石	ドリル	良積遺跡	石英・メノウ
鈴桶型縦長剥片	正福寺遺跡	黒曜石	玉	一の左右遺跡	ガラス
ツマミ形石器	正福寺遺跡	黒曜石	勾玉	良積遺跡	ガラス
深鉢	千代久遺跡	-	玉	東櫛原今寺遺跡	硬玉(翡翠か?)
深鉢	野口遺跡	野口式土器	管玉	東櫛原今寺遺跡	碧玉
深鉢	横道遺跡	押型文土器	鉢	道蔵遺跡	青銅
脚付深鉢	正福寺遺跡	阿高系土器	鉢	市ノ上東屋敷	青銅
浅鉢	正福寺遺跡	南福寺式土器	銅鏃	良積遺跡	青銅
脚付深鉢	正福寺遺跡	北久根山式土器	銅釧	良積遺跡	青銅
深鉢	野口遺跡	西平式土器	内行花文鏡	西屋敷遺跡	青銅
深鉢	安国寺遺跡	塞ノ神式土器	内行花文鏡	良積遺跡	青銅
深鉢	安国寺遺跡	轟式土器	方格規矩鳥文鏡	良積遺跡	青銅
深鉢	安国寺遺跡	船元式土器	仿製鏡	良積遺跡	青銅
深鉢	市ノ上北屋敷遺跡	船元式土器	内行花文鏡	日渡遺跡	青銅
甕	久保遺跡	朝鮮系無文土器	小型仿製鏡鑄型	寺徳遺跡	石英長石斑岩
長頸壺	久保遺跡	朝鮮系無文土器	大型管玉	良積遺跡	碧玉
壺	久保遺跡	朝鮮系無文土器	管玉	良積遺跡	碧玉
牛角把手	仁王丸遺跡	朝鮮系無文土器	勾玉	良積遺跡	翡翠
壺	良積遺跡	朝鮮系無文土器	銅矛	石丸遺跡	青銅
丹塗甕	安国寺遺跡	須玖式土器	細形銅剣	塚崎貝塚御廟塚	青銅
丹塗高坏	安国寺遺跡	須玖式土器	細形銅剣	-	青銅
丹塗器台	安国寺遺跡	須玖式土器	銅矛	秋葉神社所蔵	青銅
小壺	木塚遺跡	板付式土器	鐘崎式土器	正福寺遺跡	鉢形土器
磨製石剣	東櫛原今寺遺跡	砂岩	石鏃	三瀦町採集	黒曜石
磨製石剣	石丸遺跡	頁岩	石鏃	三瀦町採集	安山岩